



# The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 13 | Issue 2 | October 2009

## In this issue...

- ▶ 横浜ドラマフェスティバル...p. 2
- ▶ 学習者像ポスターコンテスト...p. 3
- ▶ IB PYP定期的評価...p. 3
- ▶ IB ディプロマ奨学金サポート...p. 4
- ▶ 新型インフルエンザ情報...p. 5
- ▶ セカンダリースクールNews(SRC)...p. 6
- ▶ Mathletics...p. 7
- ▶ 日本語ノート2...p. 8
- ▶ オフィス最新情報...p. 8
- ▶ 学校発展計画最新情報...p. 9
- ▶ ｽ. Festa'09...p. 10
- ▶ KISTに緑を...p. 10

「新しい教育方法が、若者の  
好奇心を完全に押しつぶさ  
なかったのは、まさに奇跡で  
す。」

アルベルト・アインシュタイン

## 校長室から

### ｽ. Festa'09 here we come!

あっという間に数週間が経ってしまいました。学校の8週目が過ぎ、スクールフェスティバルが目の前に迫ってきました。今学期はすでにいくつかの夜のイベントを行い、たくさんの保護者の皆様に出席していただきました。これはスクールコミュニティの保護者の皆様にお子さんや学校全体がサポートしていただいているという証拠です。当校に入学された際に保護者の皆様にお話した通り、学校と家庭と生徒の間の結びつきはとて大切で、その三つが協力をしないと、三本の脚がすべてない三脚の椅子のように、すべてが崩れてしまいます。皆さんが生徒に世界レベルの教育を提供できるよう、努力を怠らずにいることをとてもうれしく思っております。今後も1年を通して皆様が当校のプログラムを理解できるよう、様々なインフォメーションナイトを行う予定です。

また、この場をお借りして、新型インフルエンザの蔓延を防ぐために、保護者の皆様にご協力していただいたことを感謝したいと思います。お子さんの体調が悪いようでしたら、お子さんとお子さんの兄弟をご家庭で見てくださいよう引き続きお願いいたします。

最後にKフェスタ09です。当日皆様に出会えることをとても楽しみにしています。また、必要な資金を集められるよう、皆で協力しがんばりましょう。冬学期には人工芝覆われた素敵な運動場が見られることと思います。

Kフェスタ09でお会いしましょう！

Anne Grahame  
Principal

## 2010-2011年度の出願について

スクールカレンダーに記してある通り、2010-2011年度の出願は10月12日から12月18日まで受け付けております。面接と入学試験は1月中旬、結果の通知は2月上旬に行う予定です。他のお子さんのKISTへの入学を希望されている方は、締め切りを過ぎないようにお気を付け下さい。また、知り合いにKISTへの入学を希望されている方がいる場合は、この情報をお伝えしていただければありがたいです。KISTへの出願に関する詳しい情報はKISTのウェブサイト[www.kist.ed.jp](http://www.kist.ed.jp)の“Admissions Page”をご覧ください。

Craig Larsen  
Director of Admissions

Learning for Life Learning for Life Learning for Life Learning for Life

## DATES TO REMEMBER



October 17:  
PSAT Practice Test (G10, 11)

October 23:  
Festival Preparation Day

October 24:  
SCHOOL FESTIVAL!

October 26 – November 3:  
Mid-Term Break

November 6:  
Inter-House Cross Country

November 18 – 20:  
Grade 6 Camp

November 23:  
Parent/Teacher/Student Interviews  
School Board Meeting

November 27:  
Inter-School Cross Country

December 3:  
Free Dress Day

December 5:  
Model United Nations (Hosted @KIST)

December 18:  
Last day of Autumn Term  
Reports sent home

## 横浜ドラマフェスティバル

今年の9月に毎年横浜インターナショナルスクール主催のドラマフェスティバルにKISTから8人の生徒と3人の教員が参加しました。このイベントは1日に渡り行われ、生徒は協力し合い、コミュニケーションを取り、「土」をテーマに想像力を引き出しました。このテーマは各グループを違う道へ導き、グループの多様性と方向性を反映させました。

KISTの生徒は関東の他のインターナショナルスクールの生徒と共にチームに分けられました。当校の生徒は様々なバックグラウンドを持ち、G6からG12までの年齢の異なる他の学校の生徒と一緒に活動しました。各チームに舞台監督が付き、生徒は4時間半使って「土」をテーマにしたオリジナルの作品を作りました。当然のことながら、これらのパフォーマンスはチームによってまったく違うものとなりました。



グループは自身のテーマの解釈を動きやセリフ、効果音や小道具を使って表現しました。KISTのG9からG11の生徒が参加し、以下はイベントに参加した生徒の感想です。

「ドラマ作りを通して、演技をするということや他のインターナショナルスクールの人たちと接することの大切さを学びました」とG10 Sayakolは話していました。他の学校の生徒たちと仲良く接することができた G9A Mirilは「最後に発表した演劇すべてが素晴らしかったです。」と言い、「とても楽しかったです。他の学校の人たちと関わることができ、最後に演劇の発表もできました。また来年参加するのが待ち遠しいです。」と言いました。

G9BのKathrynが言っていた通り、このイベントは他の学習機会と同様にとても楽しいものでした。Kathrynは「他の学校の生徒と接することができてとても楽しかったです。演劇について私が知らなかったことをたくさん学びました。他の人たちと発表をするのがとても楽しかったです。」と言いました。G11のShreyaも同様に、「楽しかったです。他の学校の人と接することができるいい機会でした。」と言いました。また、「私たちの先生は音楽の先生だったので、ピアノの即興をすることができました。」とも話していました。最後の発表とそこに至るまでの過程は同じくらい大切だと考えているG9BのMonicaは「とても楽しかったです、いろいろな人と出会ういい機会でした。いい練習になりました。」と感想を述べました。

G11のPraytushは東京までの帰りの電車でもとても生き生きとしながら感想を話してくれました。ワークショップとパフォーマンスに参加すると同時に、生徒は他のグループの作品を見る観客でもありました。G9AのMarieは「演技をするのも、見るのも楽しかったです。一日の終わりにはほとんどの人と友達になれました。」と話していました。

そして最後に、共同で作品を作り上げることと、演劇のこと以外の事も学んだというG9AのSu Meeは「素晴らしい経験でした。いろいろな学校の人と友達にもなれたし、演劇と土についてたくさん学ぶことができました。」と話していました。

Jacqueline Cussen  
English Teacher

## 宿題に求められることについて

私たちは宿題は日々の学習のサポートと共に、生徒個人の責任感、勉強をする習慣、時間管理をするスキルを育てると考えています。宿題に求められることは学年や担任によって異なりますが、普段クラスで学習しているものと関連しているものです。下記は大まかな宿題の概要です。

- **K1 - K3:** K1-K3の生徒には決まった宿題はありませんが、遊びや会話や直接の体験を通して、ご家族の皆さんがお子さんの学習に参加することを促しています。また、毎日大人がお子さんに本を読み聞かせてあげることが強く勧められています。お子さんが自身で本を読むことができるようになった時(5歳から6歳ぐらい)には、お子さんが初心者向けの本を家に持って帰りますので、それを日々の読書の時間に使って下さい。
- **Grades 1 - 5:** Grade 1は幼少期からの移行の時期と考えられており、1年をかけてゆっくり宿題をする習慣をつけていきます。Grade 2 - 5は各担任により、毎日30分から1時間の宿題が与えられます。これには生徒自身が行う復習や、自習が含まれます。生徒の宿題には、本読み、算数アクティビティー、言語アクティビティー、スペリング、ユニットワークなどがあります。
- **Grades 6 - 12:** Grade 6から10の生徒は1時間から1時間半をGrade 11から12は2時間から2時間半を宿題に費やすことを期待されています。これには気晴らしの読書の時間は含まれていません。宿題プログラムの大切な要素は教わった各教科に適した学習法を学習スキルとして習得し、個人に適応した学習スタイルで学ぶためです。生徒は学校の勉強で必要なりサーチや情報を集めたりすることもあります。



## 学習者像ポスターコンテスト



ここKISTでは、理想とする学習者像の大切さを認識しています。計画と評価を通して、KISTコミュニティのメンバーすべてが学習者像に導かれ、学習者像を洗練させられるよう、様々な経験を発展させています。生徒の意識を高めるために、MYPコーディネーターのMr Ferrisが学習者像ポスターコンテストを企画しました。応募したすべての学年の生徒の作品が飾られる予定です。

応募は10月23日までです。

**RISK TAKER REFLECTIVE**  
**PRINCIPLED OPEN-MINDED**  
**BALANCED COMMUNICATOR**  
**INQUIRER CARING**  
**KNOWLEDGEABLE THINKERS**

## IB PYP 定期的評価



2010年の5月にIBスクール訪問チームがKISTに5年おきに行われる定期評価をしに来ます。この評価は世界中のIBの学校が行わなくてはならない条件であり、インターナショナルバカロレア機関が行っているサービスでもあります。KISTは2001年に認定を受けているので、この定期評価は再認定をするためのものではありません。このプログラム定期評価は当校にアドバイスを提供し、進むべき方向を示すことを目的としていて、またIBのプライマリーイヤープログラムの基準が保たれ、スクールコミュニティによって発展することができているかを確認します。定期評価から得られる利益には以下のものがあります。

- 学校のプログラムの質を確かめる
- 自己評価、カリキュラム発展手順、プログラムの管理、教材の割り当てなどの手助け
- PYPの基準、目的、方針を反映した活力に満ちたプログラムを保つ手助け

評価の過程にはPYPの3つの大切なステージが含まれます：

**自己学習：** このステージでは、学校がプログラムの様々な基準をどのように満たしたか、またPYPを評価する際にスクールコミュニティをどのように取り込んだかなどを観察できるような総合的な自己教育質問表に学校が答えます。KISTではすでに自己学習を始めていますが、それには皆様の手助けが必要です。KISTコミュニティの全員の意見が聞きたいので、今後の5ヶ月の間に保護者の皆様に様々なことに参加していただくようお願いすることになります。ご協力をお願いします。

**学校訪問：** すべてのPYPスクールにおいてプログラム評価チームの訪問は必須です。訪問は学校の自己学習をサポートし、プライマリーイヤープログラムの実践者によっておこなわれます。

**評価報告：** IBの地域オフィスが学校の評価報告書を提供してくれます。この報告書にはIB訪問チームと地域マネージャーによる称賛や提案が含まれています。PYPの実行計画は2005年のIB報告書を基にしたものです。また報告書は学校の開発計画にも使われています。このことでIB訪問チームからの提案が実行され、KISTは引き続き発展し前に進んでいるのです。

Emma Homerlein  
 PYP Coordinator



## IBディプロマ奨学金サポート

下の記事はCIS Office of Higher Education Newsletter Sept 2009 に載っていたものです。KISTではすでに卒業生がいろいろな大学から返済不要な奨学金のオファーを受けています。たとえば、Boston大学は授業料全額、Gonzaga大学、Dubuque大学、早稲田大学は授業料半額、McGill大学は授業料の30%免除、Virginia大学は授業料の25%免除、Bath 大学は授業料の20%免除です。

CIS Office of Higher Education Newsletter Sept 2009より引用

IBのディプロマは大学進学へのパスポートとなります。IBディプロマは厳格な高校教育を提供するものと認知されており、評価課題は生徒が高等教育で成功するために必要なスキルと知識をつけるよう考案されています。

世界中の大学でユニークな個性を持つIBの生徒を受け入れており、生徒が大学レベルの教育の受けるための準備をするようなプログラムだということを知っています。最近Conley and Ward (April 2009) により行われたIBディプロマの教育内容の基準とAAUのKnowledge and Skills for University Success (KSUS) との比較によりIBプログラムと大学への準備と成功が強く関係しているということが証明されました。Oregon州 Eugeneにある教育対策向上センター(EPIC)のDavid Conley とTerri WardはIBの基準はすべての教科においてKSUSの基準ととても近いということを報告しています。

また、IBの基準のほとんどは大学の教科の入門レベルのものよりも難しいとされています。要するに、IBで成功した生徒は大学の入門レベルの教育でも成功する準備が整っており、すでに習ったものもある場合があります。

北アメリカの大学では、IBのディプロマの生徒が強く求められています。たくさんの方はIBの生徒をリクルートのターゲットにし始めました。これは大学によるIBディプロマおよび修了証取得者の認識ポリシーが向上した結果です。IBディプロマを取得するために必要な学習レベルを評価する1つの方法として、他の奨学金制度以外に、IBディプロマ取得者のための奨学金を提供している大学があります。

また、下記の機関も奨学金を提供しています。

### The Davis United World College Scholars Program

現在91の大学とカレッジに提供されています。

下記のリストはIBのウェブサイト<http://ibo.org/country/CA/index.cfm>と<http://ibo.org/country/US/index.cfm> または公共機関のウェブサイトに記載されている2009年6月現在IBディプロマ取得者向けの奨学金制度を設けているカナダとアメリカに大学や公共機関です。

Sandra Wade Pauly



### CANADA

Acadia University  
Bishop's University  
Brock University  
Cape Breton University  
Collège universitaire de Saint-Boniface  
Concordia University – Alberta  
Dalhousie University  
Memorial University of Newfoundland  
Mount Allison University  
Saint Mary's University – Halifax  
Simon Fraser University  
St. Thomas University  
Trent University  
Université de Moncton  
Université de Montréal  
University of Alberta  
University of British Columbia  
University of Calgary  
University of King's College  
University of Manitoba  
University of New Brunswick – Fredericton  
University of New Brunswick – St John  
University of Regina  
University of Toronto  
University of Victoria  
University of Waterloo  
University of Western Ontario  
University of Windsor  
University of Winnipeg  
Wilfrid Laurier University

### USA

American University of Paris  
Bentley University  
College of Idaho  
Defiance College  
Drury University  
Florida Atlantic University – Wilkes  
Honors College  
Florida Gulf Coast University  
High Point University  
Illinois Institute of Technology  
Meredith College  
Mesa State College  
Methodist University  
Michigan Technological University  
Missouri Western State University  
Montana State University - Bozeman  
New College of Florida  
New England College  
Oberlin College  
Oregon State University  
Otterbein College  
Savannah College of Art and Design – Atlanta & Savannah  
Southern Methodist University  
Missouri State University  
St. Mary's College of Maryland  
St. Mary's University – San Antonio  
Stetson University  
Texas Tech University  
University of Dubuque  
University of Florida  
University of Nebraska – Lincoln  
University of North Florida  
University of Tampa  
University of Tulsa  
Wabash College  
Western Oregon University  
Western Washington University  
Winthrop University  
Wittenberg University

## 新型(H1N1)インフルエンザ情報

新型インフルエンザのまん延を防ぐため保護者の皆様が学校の設置したガイドラインを参考に対応していただいていることをありがたく思っております。学校は引き続き状況を監視し、その時に適した対応をしていきます。今の時点では新型インフルエンザの予防接種が受けられるようになり次第、予防接種を受けることをお勧めしています。また、現在の新型インフルエンザに対しての学校の対策を下記に記してありますので、ご理解していただければと思います。

東京都私学部からの最新の通達により、インフルエンザの発症が学校内にて10人以上にならない限り報告の義務がなくなりました。また、学校/学級閉鎖の決定も各学校の判断になります。引き続き当校では慎重に状況を判断していきますが、今後は学校/学級閉鎖の基準を通常通り、欠席者がクラスの3分の1以上になった場合とします。また、もしも兄弟姉妹でインフルエンザを発症した場合、発症していない兄弟姉妹も感染の拡大を防ぐため同期間お休みして頂きます。さらに、多くのスタッフが病気で欠席した場合は学校閉鎖とします。

感染の広がりを最小限にとどめるためには私たちが一丸となって取り組むことが大切です。ご自身の安全だけではなく学校全体のためにも、各ご家庭では、健康に特に気をつけて、健康管理を行ってください。体温を測り、高熱またはインフルエンザのような症状(咳、鼻水、のどの痛み、体の痛み、頭痛、寒気、吐き気、下痢など)がある場合は、医師の診断を受け、登校しないでください。保護者の皆様には学校の方針に厳格に従い、お子さんに病気の症状が見られた場合は登校させずに学校に連絡するようにお願い致します。学校に戻る際は、医師の証明書をオフィスに提出してください。

感染防止のための手洗いとうがいの励行もよろしくお願ひします。生徒には各教員が手洗いの重要性について指導します。また学校の入り口や様々な場所に手指の消毒液を用意致します。お子さんに呼吸器系の心配がある場合は登校を控えて下さい。

ご質問等がございましたら、どうぞ遠慮なく学校のアドミニチームのメンバーにご連絡下さい。

## 感謝状

昨年「誰が守る(絶滅危機にある動物)」のユニットで、グレード4の生徒たちは絶滅危機にある動物たちを守るため自分たちに何が出来るかを考えていました。私たちは、Moanaのお母さんを通して、国際オランウータン保護団体に連絡することができました。4Rと4Gの生徒たちは、この機関をサポートするため、バザー、雑誌(面白い内容がいっぱい入っていました)、家庭で二酸化炭素排出量の削減を怠った家族への罰金やユニークで芸術的な回収ボックスを使って資金を集めました。私たちは、このプロジェクトを通してお金を集める難しさを学びました。また、オランウータン保護団体から感謝状をもらいました。感謝状には、私たちが集めた\$574で引き続きオランウータンとオランウータンの唯一の家、雨林を保護できると書いてありました。

私たちは2008年度のグレード4の努力から、多くの人たちがオランウータンの保護の責任を共有をしてくれることを願っています。

Moana (Grade 5)

Eimi (Grade 5)

## おめでとう!

Grade 12のCarminaさんが、11月にロンドンで行われるGlobal change maker's Global Youth Summitにブリティッシュカウンシルから招待されました。Carminaさんは、1100通以上の応募者から、東アジア代表として選ばれました。このサミットは世界でたったの60人しか参加することができません。

ブリティッシュカウンシルは、教育の機会と文化的関係を築くためのイギリスの国際機関です。

Carminaさんおめでとう! サミットではKISTの代表として頑張ってください。



## セカンダリー News

セカンダリーは2009-2010 度の生徒会(SRC) のメンバーが決定しました。

SRC には規約(以下参照)があり、2週間に一度木曜日の放課後に評議員と会議を行います。会議は Ms Gibbons (学生福祉カウンセラー) の指導の下行われます。

SRCの目的は:

- 生徒間により社会参加を奨励する
- 学校と生徒の間の連絡窓口を提供する
- チャリティー活動を通じて、学校、地元と国際社会の重要な一部になる
- 生徒たちが楽しく、忘れられない学校生活をおくれるよう助力する

### Executive Members



James (G12)  
President



Carmina (G12)  
Co-Vice President



Disha (G12)  
Co-Vice President



Soo Min (G12)  
Treasurer

### Council Members



Aditya (G12)



Margaret (G11)



Ryouzuke (G10)



Monica (G9)



Bhavya (G7)



Karen (G6)

## 西館新校舎寄付報告

2009年10月9日現在で61,600,000円の寄付が集まりました。ご協力頂きました皆様に心からお礼申し上げます。さて、すでにご覧になられた方も多いと思いますが、完成した西館の多目的ホールの壁にご寄付頂きました皆様方の記念タイルが貼られています。学校にお越しになった際にぜひご覧ください。

今回は残念ながら寄付目標額を達成することはできませんでしたが、今後予定されています体育館等新築工事にむけ積極的な寄付キャンペーン活動を行っていきたくと考えておりますので、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。また、記念タイルに空きスペースがありますので引き続き記念タイルの申込みを受けております。皆様からの積極的ご寄付をお待ちしています。



## Mathletics

Mathletics はKISTが今年初めて導入したプログラムのため、お子さんの学習内容を確認し、慣れ親しんで下さい。このプログラムがもたらす全ての有益をとともうれしく思います。

Ross Ferris  
Mathematics Subject Area Coordinator (Secondary)



## SCHOOL PARENT REGISTRATION

(free)

学校では、数学学習の大切な一部としてMathleticsというプログラムを使っています。Mathleticsは次世代の学習方法であり、生徒たちの数学の勉強を楽しく、素晴らしい結果をもたらします。親としてMathleticsに登録すると、お子さんの毎週のレポートを確認することが出来ます。

これらのレポートから、お子さんの成果と成長を確認することが出来ます。

[www.mathletics.com.au/parent](http://www.mathletics.com.au/parent) から登録を行って下さい。登録手続きの途中に、以下のスクリーンが出てきます：

後は必要情報を画面に入力するだけです。登録にはお子さんのIDとパスワードが必要です。IDとパス

ワードはお子さんもしくは学校から入手できます。お子さんが一人以上いる場合は、人数分の登録が必要となります。同じ手順とemailアドレスで登録を行って下さい。登録完了後、ペアレンツIDとパスワードが出てきますので、必要な場合はその情報をプリントし、安全な場所に保管して下さい。ペアレンツセンターにアクセスする場合は、[www.mathletics.com.au](http://www.mathletics.com.au) からペアレンツIDとパスワードを入力してください。

## 日本語ノート 2

今回の日本語ノートでは、日本語から一歩離れて、保護者の皆さんと教員のための図書館にある新しい本についてご説明させていただきます。

バイリンガルまたは多国語の子供をもった親たちは、バイリンガル教育に伴う避けて通れない困難に直面すると、自身の下した言語発達の決断についてよく疑問を持ちます。KISTはIBスクールとして、母国語や第一言語、または第二、三、四言語の発達を重要視しています。



西館の図書館に、新しく保護者と教員専用のバイリンガルイズムと多言語の本のセクションができます。今後数ヶ月に渡り、新しい本が増える予定で、それをニュースレターで紹介していきます。今回は、一冊の本と雑誌を紹介したいと思います。

**2ヶ国語で育つ: 説明書** second edition by Una Cunningham-Anderson and Staffan Anderson (2004)

この本は、バイリンガル能を目指し力めて悩んでいる家族を安心させるアドバイスが載っています。また、この本には、多国語の子供を持った親の知恵が載っています。この本は本当に実用的で、学問的ではないため、とても読みやすいテーマとトーンになっています。KISTの親の方たちが特に興味を持つであろうセクションは、言語の発達と子供をバイリンガルに育てるためのサポート方法です。

### 多国語家族雑誌

この雑誌は**lingualfamily.org** ウェブサイトからネット配信されている雑誌の印刷されたものです。雑誌内容は、子供を多国語で育てる上で起こる学問的及び現実的な問題となっています。図書館にある雑誌の主なトピックは、「トライリンガルのお子さんを持つ親に4つの素晴らしいヒント」と「兄弟とバイリンガル能力」です。もしご覧になって雑誌を気に入って頂ければ、ウェブサイトに行って全ての資料にアクセスすることも出来ます。

Stacey Isomura

ESL and Japanese Teacher

## オフィス最新情報

### クラブの服装について

運動系のクラブに入っている生徒は、クラブの前にPEウェアに着替えてください。朝からPEウェアでは来ないでください(同日にPEがある生徒は除く)。

また、各クラブで作っているクラブのオリジナルパーカー等は制服ではありませんので、クラブ時間以外での着用は禁止です。

### 出入りロケート K1-K3

K1-K3生徒の保護者で、お子さんにペアレンツIDカード/生徒IDカードを使用させ、お子さん自身でゲートを開け閉めさせている方がいます。お子さんが一人でゲートから出入りすることは大変危険です。安全確保のためのゲートですので、お子さん(K1-K3)には絶対に操作させない/持たせないようにお願いします。

### 自転車の駐輪

自転車でお子さんを送迎されている方は、入口ゲートを入った左手側に保護者用の駐輪所を設置してありますのでそちらをご利用ください。皆さんで使用しますのでできる限り短時間の使用にご協力をお願いします。路上への駐車はしないようお願いいたします。

### 路上駐車禁止および車両進行方向の統一のお願い

お子さんを自家用車で送迎されている皆さんは、必ず近隣の駐車場を探して駐車をしてお送りしてください。特に清洲橋通り沿いや正門前～赤札堂スーパーマーケット間、学校周辺の路上での駐車は絶対にやめてください。

新年度が始まってからスクール付近への駐停車についてたくさんの苦情、厳しい意見が多くきています。警察にも再三通報が入っており、警察や駐車禁止監視員の取り締まりも強化されています。また先日にはついに警察からの是正指導が入り、学校側として改善案および対策方法を警察に書面にて提出しなければならないことになりました。改善が見られない場合にはさらに厳しい指導が入ります。

駐車禁止場所は車の中に人が乗って待っていても駐車違反になります。

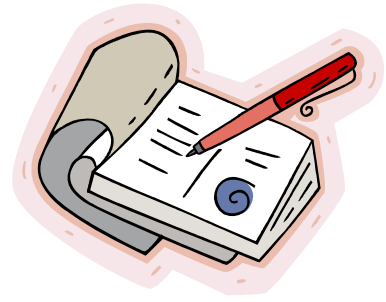
また、近隣の通行渋滞緩和のため、車の進行については、清洲橋通り側から進入し、赤札堂スーパーマーケット側へ抜けていくという、一方通行となるよう車の流れを統一していただきますようお願いいたします。



## カレンダーUpdates

最新のカレンダーが学校Webにあります。お手元のカレンダーを最新のものにしてください。

November 27: Inter-School Cross Country  
 May 28: G5 Exhibition  
 June 1-4: No clubs this week (ESL as usual)  
 June 5: Whole School Concert Day  
 June 21-24: No clubs or ESL this week



## 学校でプリントすることについて

生徒たちは、アサメントや宿題を家でプリントしてこなければいけません。これらを学校でプリントすることはできません。家で提出課題をプリントするなど、準備ができた状態で学校に来ることは生徒の責任であります。

## ハウス対校クロスカントリー大会

11月6日(金曜日)に、東大島駅近くの大島小松川公園でハウス対校クロスカントリー大会が行われます。詳しい情報は来週の初めに配られます。質問は、陸上競技ディレクターのMr Springにお願いします。

## 学校発展計画最新情報

3年間をかけて行われる学校開発計画は順調に進んでおります。すべての対策はインターナショナルバカロレアプログラムの基準を基にした学校の目標とつながっています。学校開発計画に記してある多くのものは過去のIB評価訪問で指摘された分野です。現在学校発展計画はスクールカフェの横の壁に貼ってあります。すでに完了したものと、現在進行中の計画をここで報告したいと思います。下記はすでに完了したものです：

- 引き続き教員評価表や教育的指導モデルを通して、期待値を明確に提示する
- 自己学習で得た意見とプログラム評価訪問の反省から学校の戦略的発展計画を作り発表する
- カリキュラムを調べ、保護者からの意見を集める役割をする保護者カリキュラムアドバイsteamを発展させる
- 生徒会(SRC)を発展させ、生徒がリーダーシップスキルを得られるようサポートする
- 生徒が作った規約に沿ってSRCの役割を明確にする
- 他校を手本とし、教育的指導実習を具体化する
- 教育的指導実習を専門的能力発達モデルに取り入れる
- 持続可能で、比較できる専門的能力発達に使われる予算を編成する
- 2009-2010の各科目コーディネーターを紹介し、科目別ミーティングの時間を設ける
- 2009-2011にDPの化学と2つ目の生物のクラスを設けるため、また新しい建物の準備が整うまでGroup 4の科目に必要な設備を提供できるよう、セカンダリースクールの校舎の改装をする
- スタッフと生徒のための情報ベースに登録し、カリキュラムのプランニングと配信の関連付けをする
- カウンセリングを時間割に組み込む。DPの時間割に認められたカウンセリングの時間を設ける
- 全スタッフの役割を監視する評価プロセスの実施と内省要素と改善責任の取り込み
- DPのユニットプランニング書類の基準を見直す
- 学問的公正さに関するKISTの方針を発展させ、学問的公正さに関連したスキルを指導できるようなユニットを作成する

来年取り入れるものを検討するために、完了したのもも学校発展計画に記したままにしてあります。次のニュースレターには現在進行中の計画を記載したいと思っています。これにはMrs IsomuraのまとめているKISTの母国語サポートに発展や、IBプログラムコーディネーターたちのサポートと共にMs Cussen とMr Igoe が行っている探究ユニットと様々な学問の分野の繋がりを作る作業などが含まれています。学校のスクールカフェまで学校発展計画を見にくることができないかたは、私にEメールにて知らせてください。学校開発計画書を添付してお送りします。これはKISTが進んでいる方向が見れる素晴らしい方法だと思います。

**Damian Rentoule**  
 Vice Principal/Curriculum Director  
[d\\_rentoule@kist.ed.jp](mailto:d_rentoule@kist.ed.jp)

## ズ. Festa'09



**日程: 2009年10月24日(土)**

**時間: 10:00 a.m.—3:00 p.m. (9:40 a.m.入場開始)**

(フェスティバルは雨天でも開催します)

ゲストは今年もいろいろな国の料理、楽しいゲーム、素晴らしい景品が当たるチャンスがあるラッフル、フェイスペインティング、お化け屋敷、音楽のパフォーマンスなどそれ以外にもたくさんの方が楽しめます！今年のステージには、元大関のKonishikiさんやアニメ「結界師」の主題歌を歌った宇浦冴香さんが出演します。

### コスチューム

フェスティバルの雰囲気盛り上げるため、ゲスト(大人も含める)はできる限りコスチュームを着てご参加ください。コスチュームはゲスト個人が着たいものを着て下さい。例えば、これまでに人気があったのは季節のお祝いに関係しているコスチュームです。

**入場料:** 一人100円(3歳以下は無料)

入場料は当日のゴミ処理代に使われます

**ラッフルチケット:** 一口300円

フェスティバルの目玉はフェスティバルの終りに抽選を行うラッフルです。ラッフルの抽選に参加したい方は、好きな枚数のラッフルチケットに名前や住所などを記載し、欲しい賞品の箱に入れて下さい。箱は学校の運動場に設置してあるラッフルテントの下にあります。抽選は当日の2:45 p.m.から行います。チケットに名前が記載されているので、抽選の際にその場にいられなくても結構です。賞品が当たった方には後日お知らせいたします。

去年に引き続き、今年も素晴らしい賞品を用意しています。  
ユニバーサルスタジオジャパン入場チケット(1泊2日、2ayチケット、4人分)  
日光 / 鬼怒川温泉旅行券(一泊ペアチケット)  
ラップトップコンピューター  
デジタルビデオカメラ  
iPod  
…その他いっぱい！



**クーポンチケット:** 8枚綴、一冊1000円

飲食物、バザー、各種ゲームなどは現金の代わりにクーポンでお支払い下さい。

### 駐車場および駐輪場

フェスティバル当日は、運営スタッフの車(フードブース運営者など)のみ学校の校庭に入ることができます。駐車場および駐輪場はございませんので、公共交通機関でお越し下さい。

**学校周辺の路上駐車は禁止されています。**毎年、大変残念なことに近隣から警察を通して不法駐車に関しての苦情がきます。今年も同様な問題が起きないようにご協力をお願いします。

**入場券、クーポンチケット、ラッフルチケットはフェスティバル当日に購入することができます。**



## KISTに緑を



ズ. Festa'09 に引き続き、人工芝資金集めキャンペーンの一部として校庭に人工芝を植えます。

多目的ホール・受付近くのアスファルトに人工芝が飾ってあるのをご存知だと思います。これは学校に植える予定の人工芝のサンプルです。これについて皆様の意見をお聞かせ下さい。ご自由に触ったり、座ったり、芝の上を歩いたりしてみてください。何かご意見や心配なことがありましたら、[info@kist.ed.jp](mailto:info@kist.ed.jp)までEメールを送って下さい。

**Let's green KIST!**